

2024年3月5日

川崎重工業株式会社
株式会社神戸製鋼所
住友ゴム工業株式会社

「第2回 神戸モノづくり企業 技術系女性交流会」を開催

川崎重工業株式会社、株式会社神戸製鋼所、住友ゴム工業株式会社は、2月27日に3社合同で女性エンジニアを対象にした「第2回 神戸モノづくり企業 技術系女性交流会」を実施しました。



パネルディスカッションの様子



グループディスカッションの様子

3社は、神戸に拠点を置くモノづくり企業として、従来からダイバーシティ活動に関する情報共有を実施してきました。その中で、各社の女性エンジニアから「仕事と私生活を充実させるための情報提供やネットワーキングを行う場が少ない」という共通の声があったことから、共同で交流会を開催するに至りました。本交流会は、昨年9月に第1回を開催しましたが、参加者から継続を希望する声が多く、今回は「技術者の専門性とは？」をテーマに実施しました。

交流会には、3社およびその関係会社の女性エンジニア96名(内、オンライン7名)が参加し、パネルディスカッションやグループディスカッションを行いました。

パネルディスカッションでは、さまざまなキャリアを歩んできたパネラー3名(神戸製鋼所顧問 神戸経済同友会代表幹事 榎木一秀、川崎重工業 技術開発本部 技術研究所フェロー 小鯛亜紀、住友ゴム工業 タイヤ事業本部 技術本部 第一技術部 課長代理 岡林佐和)が、自身のキャリア経験をもとに技術系管理職の在り方やキャリアに悩んだ時の乗り越え方、業務効率化のポイントなど多岐にわたる質問に回答しました。最後にパネラーから参加者に「技術系という枠をとらわれずに自分に正直になること」「製品や技術を愛せるようになると仕事が楽しくなる」などメッセージが送られました。

グループディスカッションでは、「仕事と家庭・育児の両立」「専門性・キャリア」のテーマでグループに分かれて、抱えている悩みを共有し解決方法を考え、今後のキャリア形成などについて意見交換しました。

今回の交流会を通して、参加者からは「会社を超えて同じ悩みや違う悩みを聞くことができ、自分がこれからどうしていきべきか、今後どのような課題・悩みが起きそうかを考える良い機会になった」「今後のキャリアに対してネガティブな感情を持っていたが、頭で考えすぎず気楽な気持ちで少しずつできることを増やしていけばいいと思えるようになった」など前向きなコメントが多くありました。

今後も、3社は、参加者からの意見を取り入れながら女性エンジニアが活躍できるようにイベントの開催などの支援を続けていくとともに、すべての従業員がイキイキと働き続けられる職場づくりを進めていきます。

■神戸市地域協働局部長(兼 神戸市男女共同参画センター所長)三和田智子氏からの応援メッセージ：

「企業の枠を越えて、女性技術系社員のキャリア形成に向けた交流会が開催されますことを心よりお喜び申し上げます。女性割合が少ない技術系職員同士がお互いの悩みを共有し、ネットワークを構築することは、女性が活躍し、能力を発揮していくうえで、大変有意義な取り組みであると考えます。今後入社される女性技術系社員のロールモデルとなり、ご活躍されることを願っています。」

以上